

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-a											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	Ryuta			実務 経験	有	職種	ボイストレーナー				
担当教員紹介											
Ryuta / Roland社製シンセサイザーのデモンストレーター、キーボーディスト・ボーカリスト・作編曲家、オカリナ奏者 キーボーディストとして数多くのコンサートやレコーディングに参加。特にゲーム・アニメ系の現場は多く「Game Symphony Japan」「Animation Symphony Japan」それぞれのレジデンシャルアーティストとして継続して参加。また、アーティストへの楽曲提供から、カラオケ制作や譜面作成、CMやイベントでのBGM制作とレコーディング、吹奏楽曲の作編曲まで幅広く請け負っている。オカリナ奏者としても活動し、CD「アナスタシア～天空のセレナード～」をリリース、同CDのレコ発ワンマンライブを執行。											
授業概要											
鼻歌でメロディーを作り、コードを付け、歌詞を付けて、I 曲歌もの楽曲を完成させることを目的とする。楽器が出来る学生は楽器を用いながら、またそうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成する。イントロ、A、B、サビという歌もののいわゆるひな形を理解し、この構成に則って制作を進めていく。必ず最後に発表をさせて、学生同士で意見交換などしていく。											
到達目標											
作曲のスタイルにより指導内容が異なるため、それぞれが主に何の楽器を使用するのか、あるいは楽器を使用しないのか、DAWのみで行うのか等を事前にヒアリングし、作業を進めていく。同じ到達目標を持つ授業である「作詞・作曲」「音楽基礎」と連携をとり、進み具合や学生状況を共有認識した上で最終的な発表会に向けた指導を行う。											
授業方法											
作曲のスタイルにより指導内容が異なるため、それぞれが主に何の楽器を使用するのか、あるいは楽器を使用しないのか、DAWのみで行うのか等を事前にヒアリングし、作業を進めていく。同じ到達目標を持つ授業である「作詞・作曲」「音楽基礎」と連携をとり、進み具合や学生状況を共有認識した上で最終的な発表会に向けた指導を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
個人差が大きいので、ヒアリングをしっかりと行っただうえでレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	学生を数名選抜し、悩みなどをヒアリングした後、その解決法を考える										
第2回	母音の重要性について考える										
第3回	実際の曲中で母音について考え、また意識しながら歌う										
第4回	曲中での母音と子音の意識の持ち方の違い										
第5回	ボイストレーニングにおける音階練習										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-a	
第6回	音階練習(♭ 2 つまで)
第7回	音階練習 (♭ 4 つまで)
第8回	♭ 4 つまでのスケール 5 つの発声音階練習
第9回	エクササイズの割り当て
第10回	トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する
第11回	任意の曲を正しい発声で歌う
第12回	音程をしっかりと理解した上で、正しい音程をとる練習
第13回	セミナー方式での選抜メンバー公開レッスン
第14回	semi-occludedエクササイズの音声学的な解説 (リップバブル・ストローエクササイズなど)
第15回	トレーニング・メニュー (別紙参照)、エクササイズの割り当て

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-b											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	Ryuta			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
Ryuta / Roland社製シンセサイザーデモンストレーター・キーボーディスト・ボーカリスト・作編曲家、オカリナ奏者 キーボーディストとして数多くのコンサートやレコーディングに参加。特にゲーム・アニメ系の現場は多く「Game Symphony Japan」「Animation Symphony Japan」それぞれのレジデンシャルアーティストとして継続して参加。また、アーティストへの楽曲提供から、カラオケ制作や譜面作成、CMやイベントでのBGM制作とレコーディング、吹奏楽曲の作編曲まで幅広く請け負っている。オカリナ奏者としても活動し、CD「アナスタシア～天空のセレナード～」をリリース、同CDのレコ発ワンマンライブを執行。											
授業概要											
ベーシックなボイストレーニングエクササイズの確認をしながら、音程や音階の声による実践、習得に進み、リズムトレーニングやサイトシンギングの実践をし、シンガー/音楽家として必要な技術を習得すること。											
到達目標											
自分の歌声を自ら分析、考察、理解できるようになる。自分の声がどういった楽曲に向いているか、また歌いたい楽曲を歌うには自分の声をどのようにコントロールすればいいか、表情を付けるにあたってそれらをどうすればいいかを考えることで、実際の歌唱の場（ライブなど）で活かせるようにする。											
授業方法											
ストレッチ、カウントブレス、種々のリップロール、数字によるスケール訓練、ハミング、ハーモナイズ、フォニックスを使ったエクササイズ、クラップ/ストンプリズムエクササイズ、サイトシンギングなど。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。学習したエクササイズを授業以外でもレギュラーベースで復習実践すること。卒業した後、プロのシンガーとして必ず役に立つことばかりを教え、覚えてもらう授業になる。卒業後、財産となる授業内容であり、実践し体験し自分のものにしていくアクティブラーニング要素が強い授業内容。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする										
第2回	一定のリズムを感じながらの実践										
第3回	リズムが複雑になっても一定リズムを保って実践する										
第4回	譜面を見ながらの歌唱実践										
第5回	リズム譜を追うコツを覚える										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-b	
第6回	視唱に慣れていく 及びその方法、訓練法を習得する
第7回	アドリブを実践出来るようにする。
第8回	発声法を意識した歌唱実践
第9回	スケールを正しい音程で歌えるようにする
第10回	正しい音程で歌えるようにする
第11回	リズムパターンを制作し、歌えるようにする。
第12回	プロのシンガーについての理解
第13回	各自ワンコーラスずつ歌って確認
第14回	動画を見ながら各自の課題を振り返る
第15回	全体のまとめ

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-c											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	塩谷達也 / 尾崎久美子			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
<p>大山桂佑 1990/09/13シンガーソングライター、ピアニスト。昭和音楽大学声楽学科ジャズ・ポピュラーコース卒業。Nissy (AAA西島隆弘)、Kinki Kids、玉置浩二、SKY-HI (AAA日高光啓)、三浦大知、クリスハート、香取慎吾 (SMAP)、Ms. OOJA、TOSHI (XJapan)、TEE、Hey Say Jump!、ゾン・シジョン、久保田利伸、福山雅治、桑田佳祐、コブクロ、向井太一等 (順不同) のライブツアーやレコーディング、収録に参加。現在は自身の活動を主に、コーラス業、アレンジ業、音楽監督、メディアや映画音楽の収録、イベント出演など、幅広く活動中。</p>											
授業概要											
<p>このクラスでは実践的に生の楽器で演奏をする、「アンサンブル」を目的としています。カラオケ音源で歌って、最小限で完結させてしまう事が多い昨今、実際音を一緒に出して、その中で行われる音の会話ややり取りを体感してください。「声」もひとつの楽器である認識、そしてほかの楽器とのコミュニケーション無くしては成立しないことをわかってもらえたらと思います。また、その自由度の高さを楽しみながらクリエイティブに楽しんで歌えるとさらに良いです。リハーサルのテクニックや、ステージパフォーマンスなど、ボーカリストとして、パフォーマーとして、必要な様々なことを年かけて学んでいきます。</p>											
到達目標											
<p>まずはほかの楽器の生の演奏にのせて歌う、という体験をしてもらい、その中で自分らしいパフォーマンスができるようになる事が第一の目標です。余裕が出てきたら、ステージの使い方、お客さんとの距離の取り方など、ステージパフォーマンスに意識を傾けていきます。最終的にはアドリブや、「ライブ」として成立するレベルに持っていく事がこのクラスでの目標となっています。</p>											
授業方法											
<p>まずは1週目に課題曲を渡して、ボーカリスト、各楽器に分かれ個別の指導があります。この際にその曲に関する専門的分野でのレッスンが行われます。曲の解釈であったり、発音など。その次の週には個別の歌唱指導がピアノ伴奏のみであり、いよいよ3週目には全員一緒に、つまりバンドでの合わせがあります。この3週目にいく前の2回分のレッスンの重要性はいうまでもありませんが、突然の合わせで歌えるようにはもちろんならないので、この3回で1クール、という流れをしっかりと意識してください。</p>											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
<p>邦楽に偏らず、広く洋楽も取り入れ、グルーブ感も身に着けていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	歌詞を理解する、リズムを理解する										
第2回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる										
第3回	歌詞を理解する、リズムを理解する										
第4回	メロディーを理解する、アンサンブルに対する準備をする										
第5回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-c	
第6回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第7回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第8回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第9回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第10回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第11回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第12回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第13回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第14回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第15回	フロントマンとしてのパフォーマンスができる

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
アドバンスレッスン2-b											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	尾崎久美子/Maliya/横山愛実/大山佳祐			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
尾崎久美子 / 数々のレコーディングにコーラス・コーラスアレンジ等で参加。現在は専門学校のヴォーカル講師をメインに、コーラスとして live サポートの依頼も受けている。弾き語り、ダンスボーカル、Liveパフォーマンス、ボイストレーニング等、様々なジャンルに対応し、学校での個人レッスンではそれぞれの個性を活かしながらスキルアップへと導いている。【主なコーラス参加アーティスト】上戸彩、石井竜也、鈴木雅之、鈴木聖美、光永亮太、SR-Smoothy、松本莉緒、下川みくに、Micro、Tasty Jam、菅原紗由理、佐藤亜美菜、等											
授業概要											
様々な楽器演奏者との合奏（アンサンブル）を通してそれぞれの個性や特性への理解を深め、ヴォーカリストとしての役割を理解し、表現者としての視点や考え方を体験の中から学び取る。普段は接する機会の少ない洋楽を積極的に取り入れて、邦楽では感じ取ることの出来ないリズムを実際に歌い、演奏することで体感する。											
到達目標											
レッスンやトレーニングを通して、自分の特性を理解し、環境に柔軟に対応できる技術力と応用力を身に付ける。バンドの中でマイクの使い方、正しい音程の取り方、モニターの方法等、様々な環境の中で対応していく感覚を養っていく。											
授業方法											
ドラム、ギター、ベース、キーボードなどの楽器との合奏（アンサンブル）を行う。英語と日本語の様々なジャンルを課題曲として演奏していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
毎日の継続的な基礎トレーニングをする。様々なジャンルの音楽の鑑賞と研究をする。日々の生活の中で言葉や歌詞に対するの興味を持ち、伝えるという事を考える。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	歌詞を理解する、リズムを理解する										
第2回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる										
第3回	歌詞を理解する、リズムを理解する										
第4回	メロディーを理解する、アンサンブルに対するの準備をする										
第5回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
アドバンスレッスン2-b	
第6回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第7回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第8回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第9回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第10回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第11回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第12回	歌詞を理解する、リズムを理解する
第13回	メロディーを理解する、アンサンブルに対しての準備をする
第14回	アンサンブルを通してのパフォーマンスができる
第15回	フロントマンとしてのパフォーマンスができる